

SSP杯高校野球大会開幕しました。

文責 学校長



～悲願の初戦突破、2回戦もコールド勝ち～

1 野球部7年ぶりの夏の勝利。2回戦も順当に勝ち抜き、次は佐賀西高校に挑みます。

大雨の影響で順延されたSSP杯高校野球が開幕となり、本校野球部は7月14日(火)に悲願であった夏の大会の勝利を目指して神埼高校との1回戦に挑みました。エースの香田投手の力投と攻撃陣の多彩な攻めで、12対4の7回コールド勝ちで7年ぶりの夏の大会初戦突破を果たしました。続く7月19日(日)に行われた2回戦の厳木高校戦では、先制するも6回表に4対4の同点に追いつかれハラハラする展開になりましたが、最後は地力の差で突き放して11対4の8回コールドで勝利しました。次は7月25日(土)に12年ぶりのベスト8進出を目指して、古豪・佐賀商業に勝利した県内一の進学校・佐賀西高校に挑みます。引き続き画面からの応援よろしくをお願いします。



【1回戦】のスコア

	1	2	3	4	5	6	7	計
神 埼	0	0	1	1	2	0	0	4
武 雄	2	3	1	0	2	4	X	12

【2回戦】のスコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
厳 木	0	0	0	1	0	3	0	0	4
武 雄	0	0	3	0	1	4	2	1X	11

2 陸上競技は23日(木)・24日(金)に延期となりました。

7月11日(土)・12日(日)に予定されていたSSP杯陸上競技は雨天のため中止となり当初は大会中止と報道されていましたが、関係者の努力により23日(木)・24日(金)に延期されての開催となりました。上位入賞が期待されます。応援よろしくをお願いします。

3 県放送コンテスト・県総文祭囲碁大会で上位入賞しました。

7月12日(日)に県の高校放送コンテスト、県総文祭囲碁大会が開催されました。放送コンテストは録音等によるテープ審査の形で実施され、アナウンス部門で本校3年5組の坂口ゆり子さん(成穎中)が優秀賞に、3年4組の副島志帆さん(青陵中)、2年4組の島 満大くん(城南中)が奨励賞に、朗読部門で2年6組の前田夕奈さん(青陵中)が奨励賞に輝きました。また、高校囲碁大会では、1年4組の岩本一葉さん(青陵中)が優勝、2年3組の小柳勇太くん(青陵中)が準優勝に輝きました。岩本さんは個人戦で、小柳くんは団体戦で、今夏に開催される高知総文祭(WEB開催)の佐賀県代表に選出されました。

4 今週の話成語・・・『覆水盆に返らず』

【問題】「覆水盆に返らず」を英語で表現すると？

いったん離縁した夫婦の仲は元に戻らないことのととえ。転じて、一度してしまった失敗は取り返しがつかないということのととえ。(出典：『拾遺記』より)

【由来】周の太公望は、若い頃貧乏なのに働かず読書ばかりしていたので、妻は愛想を尽かし出て行った。後に太公望が出世して高位につくと、出て行った妻が復縁を求めてきたが、そのとき太公望は盆の水をこぼして「この水を元に戻せたら復縁に応じよう」と言ったという故事に基づく。「覆水」とは、こぼれた水のこと。(参考：「故事ことわざ辞典」)

5 今週の名言・・・菊池寛氏(香川県出身)の言葉です。

○人生のどんな隅にも、どんなつまらなそうな境遇にも、やっぱり望みはあるのだ。

○人生は一局の将棋なり、指し直す能わず。(指し直す能わず…指し直すことはできない)

【解説】「文春砲」として、政治・経済界から芸能・スポーツ界に至るまで、そのスクープ記事に出ることを恐れられている感のある「週刊文春」の発行元、「文藝春秋社」を創設し、その後、芥川賞や直木賞の設立にも関わった作家・菊池寛氏の人生訓が窺える言葉です。武雄高校の諸君にとっては、大分県の耶馬溪にある「青の洞門」を開削した禅海和尚の逸話を小説にした「恩讐の彼方に」の作者といった方がわかりやすいかもしれません。

【菊池寛氏について】香川県高松市出身の小説家、劇作家、ジャーナリスト。本名は「菊池寛」(きくち ひろし)。京都帝国大学文学部英文学科を卒業後、時事新報社会部記者を経て、小説家に転身。『父帰る』、『忠直卿行状記』、『恩讐の彼方に』、『真珠夫人』などの作品で高い評価を獲得し、1923年には私費で雑誌『文藝春秋』を創刊。その後、芥川賞や直木賞を設立した他、文藝春秋社を創設したことで有名。(参考：「Wikipedia」より)

6 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その11 いくつ読めますか？

- | | | | | |
|-----------|------------|--------------|------------|-----------|
| ①滅びる (滅亡) | ②阻む (阻止) | ③殖える (殖産) | ④惚れる (自惚れ) | ⑤省く (省略) |
| ⑥衛る (護衛) | ⑦生える (芽生え) | ⑧這う (腹這い) | ⑨蔑む (侮蔑) | ⑩訟う (訴訟) |
| ⑪鎖す (鎖国) | ⑫粘る (粘土) | ⑬或る (或問・或る女) | ⑭著す (著作) | ⑮粧う (化粧) |
| ⑯催す (開催) | ⑰宣う (宣言) | ⑱狙う (狙撃) | ⑲剩る (余剰) | ⑳薦める (推薦) |

7 今週の一冊…小長谷正明氏の『世界史を変えたパンデミック』（幻冬舎新書）です。

2020年、世界は新型コロナウイルスの感染爆発に直面した。人類の歴史は感染症との闘いの記録でもある。14世紀ヨーロッパでのペスト流行時には、デマによりユダヤ人大虐殺が起こった。幕末日本では黒船来航後にコレラが流行、国民の心情は攘夷に傾いた。一方で1803年、スペイン国王は世界中の人に種痘を無償で施し、日清戦争直前には日本人医師が自らも感染して死線をさまよいつつペスト菌発見に尽力した。医学的・歴史的資料をもとに、人類がウィルスといかに闘い、打ち勝ったかを明らかにする。（参考：本書裏表紙説明より）

【解説】日本人の国民性で一旦は感染拡大に歯止めがなかったものの、若者を中心とした気のゆるみからか第2波の襲来と思われる感染が東京を中心に全国に広がっています。この終わりの見えないウイルスとの闘いを我々人類はその歴史とともに繰り返してきたということがこの一冊を読めばよく分かります。二度の世界大戦でも敵国と戦って死んだ人よりもウイルスと闘って亡くなっていった人の数の方が多かったという事実には驚愕するはずですが。今回のコロナも日本こそ致死率は低いです、アメリカやブラジル、ヨーロッパの感染拡大と致死率の高さに真摯に向き合い、感染拡大予防に国を挙げて真剣に取り組むべき岐路に立たされていることを思い知らされる一冊です。

【作者・小長谷正明氏について】1949年千葉県生まれ。79年名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。専攻は神経内科学。現在、国立病院機構鈴鹿病院名誉院長。パーキンソン病やALS、筋ジストロフィーなどの神経難病を診断・治療する。医学博士、脳神経内科専門医、日本認知症学会専門医、日本内科学会認定医。『世界史を動かした脳の病気』『医学探偵の歴史事件簿』『ヒトラーの震え 毛沢東の摺り足』『ローマ教皇検死録』『難病にいとむ遺伝子治療』など著書多数。（参考：本書表紙裏の著者紹介文より）

8 日本全県の名所とスイーツめぐり…第15回は香川県です。

○名所 （参考：「ぐる旅」その他より）

◆金刀比羅宮・・・古くから信仰の地となっていた金刀比羅宮への「こんぴら参り」が全国に広まったのは江戸時代。当時は庶民が旅をすることを禁じられていたのですが、金刀比羅宮や伊勢神宮を始めとした社寺への参拝の旅は、その限りではありませんでした。金刀比羅宮も「一生に一度はお参りしたい場所」として、多くの人々の憧れのまどでした。象頭山にあり祭神は大物主命と崇徳上皇をあわせ祀る、海の守護神として崇敬を集め参詣者が多く、古くから「さめぎのこんぴらさん」として親しまれています。参道の石段は本宮まで785段、奥社までの合計は1368段にも及びます。参道両脇には土産物や讃岐名物のうどん店、周辺も旧金毘羅大芝居（金丸座）や高灯籠など見どころが多い場所です。

◆瀬戸大橋・・・瀬戸内海をまたいで本州と四国を結ぶ長大橋。香川県坂出市と岡山県倉敷市を結ぶ6つの橋と4つの高架橋を総称した呼称です。全長9368mで、鉄道と道路の併用橋としては世界最長を誇ります。坂出市側のたもとに瀬戸大橋記念公園があり、回転展望台「瀬戸大橋タワー」があります。世界最大級の橋梁。昭和63年4月開通。

○スイーツ・土産

【おいり】(山下おいり本舗)メディアにも紹介された縁起物菓子「おいり」は、西讃にだけに伝わる伝統の嫁入り菓子です。赤、白、ピンクなどの7色の色鮮やかな小さな丸い粒状で、口に含むとほんのり甘く柔らかい食感の餅菓子です。現代では、デザートのコレクションやお土産として注目を浴びている一品です。

【木守(きまもり)】(三友堂)「木守(きまもり)」とは晩秋の柿の木にただ一つ残された実のことです。昔、千利休が弟子たちを集め、楽長次郎に焼かせた茶碗を並べて、好きなものを持ち帰るがよいと言ったところ、赤楽茶碗が一つだけ残ったといわれています。利休はこの茶碗に、柿の収穫時に木に一つだけ残される木守柿にたとえて、「木守」という銘を与え、後に大変名器となったようです。それにちなんで出来たお菓子が、三友堂の「木守(きまもり)」です。自家製柿ジャム入羊羹を麩焼き煎餅ではさみ、讃岐特産の和三盆糖がかけられています。

9 保護者の皆様へ…三者面談に向けての話し合いを。また、感染拡大防止にもご協力を。

来週火曜日（7/28）から三者面談が始まりますので、お子様と進路について話し合っておいてください。また、全国に感染が拡大している状況ですので、県外から帰省される卒業生（大学生・OB）の校内への立ち入りや部活動への参加はご遠慮いただきたいと思っていますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【表面の問いの答】「It is no use crying over spilt milk. (こぼれたミルクを嘆いても仕方がない)」「Things done cannot be undone. (一度なされた事は元に戻せない)」

①ほろびる②はばむ ③ふえる ④ほれる ⑤はぶく ⑥まもる ⑦はえる ⑧はう ⑨さげすむ⑩あらそう
⑪とぞす ⑫ねばる ⑬ある ⑭あらわす⑮よそおう⑯もよおす⑰のたまう⑱ねらう⑲あまる ⑳すすめる